

## INTERVIEW 1 : “ WATCH DESIGN DEVELOPMENT PHASES”

### インタビュー(1) デザイン過程をフォローする

参加者 : ボグダン・コヴァル(ジャーナリスト)、カハル・ルグナン(Peugeot Design Lab)、ジャン=フィリップ・クロー (Noosphere)

イントロダクション: こんにちは、おふたりは新ブランドの結成にあたってコラボレーションによる時計製品に取り組まれています。この時計製品と開発プロセスには、オリジナルな側面がみられます。そこで Peugeot Design Lab とのデザインの様子、Noosphere との宣伝活動を中心にお伺いしたいと思います。

Q1: カハル・ルグナンさん、新ブランドの時計製品をデザインするにあたり Noosphere をパートナーに選ばれたのはなぜですか。

A: Peugeot Design Lab は、グローバルブランドデザインのスタジオです。したがって、Noosphere サイドからオファーがあった際に、「単にタイムピースをデザインするのではなく、Pecqueur Conceptuals のブランドイメージそのものを確立する」という要請は、願ってもない申し出でした。個人的な信念として、デザイナーという仕事は、アーティスト 50%、デザイン 50%だと認識しています。キャッチコピーの「ムーブメントのメカニックアート」は、Pecqueur Conceptuals ブランドを明確に定義し、自動車デザインを手がけるわれわれにとってはこのうえないものでした。

Q2: ジャン=フィリップ・クローさん、いまカハル・ルグナンさんが触れた Pecqueur Conceptuals のブランドイメージについてお聞かせください。

A: Pecqueur Conceptuals は、オネシフォール・ペックールの発明にインスピレーションを得たブランドです。ペックールの画期的な発想を受け継ぎ、その発明の卓越性と洗練性を表現したいと考えました。ランゲージ(ことば)を介して新しいコンセプトを称揚するとともに、製品の複雑な技術面がおのずからアピールされています。カハルさんが触れたキャッチコピーですが、これは、伝統的な時計製造からわれわれの現代的な解釈にいたるまで、時計の正当性を反映することをねらいとしています。技術的側面から知的財産を含めた時計のあらゆる面を尊重する、この見地からムーブメントに注目しました。

Q3: 初製品として時計が選ばれたのはなぜですか？

A: 最初に、歴史的な正当性が挙げられます。時計職人は、メカニック分野における画期的なメカニズムの先駆者でした。今から数世紀前に、後にコンプリケーションと呼ばれる複雑な歯車装置が誕生しました。今日においてもこのムーブメントの機械美、ミニチュアサイズのパーツは、多くのメカニックファンを魅了しています。このような背景から、時計製品の実現を決断しました。一方で、Pecqueur Conceptuals は時計メーカーとしての発展を目指してはならず、ほかの製品の展開を視野に入れていきます。

Q4: カハルさん、この時計製品のための新コンプリケーションの開発にあたって、デザイナーは技術面においてどのような役割を果たしましたか？

A: 新しい GMT コンプリケーションの純粋な技術的側面に関しては、スイスの Centagora 時計研究所が、事前に Noosphere と共同作成した仕様書に従って制作しているため、関与していません。ダイヤルやケースのデザインに影響する一部パーツや主要ピースのセレクションや配置については、当初から我々が Centagora と協力して決定してきました。

Q5: カハルさん、いまのところ製品が未完成であるため、具体的なデザインについてお聞きすることはできませんが、個性、特徴についてお話ししていただけますか。

A: ペックールのタイムピースの核は、差動システムにあります。デザイン面でもこのシステムをアピールしています。ペックールの発明にオマージュを捧げることを意図し、洗練性とライン美の際立つダイヤルとケースにメカニズムが収められます。時計はさまざまな次元を有するため、密度の扱いの変化によってデリケートなデザインを実現することができます。

Q6: ジャン=フィリップさん、*Peugeot Design Lab* とのコラボレーションにおける収穫についてお聞かせください。

A: プロジェクトの段階から、カハルさんをはじめとするプロジェクトチームと一丸となって取り組んできたため、明確な線引きはできませんが、ブランドのアイデンティティを確立し、グラフィック面を決定する「ブレインストーミング」から始めました。次に、時計職人とともに進めたムーブメント開発段階があり、最後に現段階の時計デザインがあります。

Pecqueur Conceptuals にとって、時計製品のデザインは最優先事項です。デザインによってメカニックパーツを称揚したブランドイメージが確立されます。

メカニックの世界はデザインによって美しく演出され、Pecqueur Conceptuals ブランドのアイデンティティが立ち現れます。潜在的な購入者サイドの厳しい要請を考慮すると、製品イメージによるブランド格付けを無視することはできません。また、表現すべき明確なメッセージと、豊かな創造性がなければデザインは不可能でしょう。